

日時	場所	会場	公演名	出演者	主催・企画	後援・協賛	入場者数
2013年 平成25年 4月22日 (月)	岩手県 釜石市	JR釜石駅前広場	釜石駅前・復興メモリアル石碑設置	キッズダンス いがったんたら			

平成25年4月22日

釜石駅前・復興メモリアル石碑事業計画書

釜石ロータリークラブ
復興特別委員会

(1) 事業名称：東日本大震災関連事業「釜石駅前・復興メモリアル石碑設置」

(2) 実施期間：平成25年5月～平成25年6月

(3) 設置場所：岩手県釜石市JR釜石駅前広場

(4) 事業内容：平成23年度3月11日の東日本大震災は、東北の三陸沿岸各地に甚大な被害をもたらした。約2万人のかげがいの命と平穏な営みを奪いました。その教訓を生かし、釜石でも復興への歩みを着実に進めてまいります。

そこで作家「井上ひさし」氏は、釜石にゆかりが深く、母、兄も釜石で生活をし、氏も釜石市立図書館の臨時職員として2年間、夜勤を行い、図書館の本を全部読破したことも伝えられています。「井上ひさし」の作家としての基礎は釜石で培われたと言っても過言ではありません。

井上ひさし氏のNHK人形劇「ひよっこりひょうたん島」のモデルは釜石湾に浮かぶ三貫島と言われています。「波をかきわけ、雲を追いかし、悲しさを乗り越えてくじけず、泣かず、笑っちゃおう、進め！」という歌詞は、今の釜石市民に対して励ましのメッセージです。この「ひよっこりひょうたん島」の歌詞を石碑に刻み、今そして後世に語り継いでいくものであります。その場を維持するの意義を説明するもゆきまします。

ひよっこりひょうたん島

波をかきわけ 雲をかきわけ
(ちよぶちよぶちよぶ)
雲をすいすいすい追いかけて
(すいすいすい)
ひょうたん島はどこへ行く
ボタも乗せてどこへ行く
(うらうらうらうらう)
丸い地球の水平線に
何かがきつと待っている
悲しいこともあるだろう
悲しいこともあるだろう
だけどもボタはくじけない
泣くのはいやだ 笑っちゃおう
進め!

ひよっこりひょうたん島
ひよっこりひょうたん島
ひよっこりひょうたん島

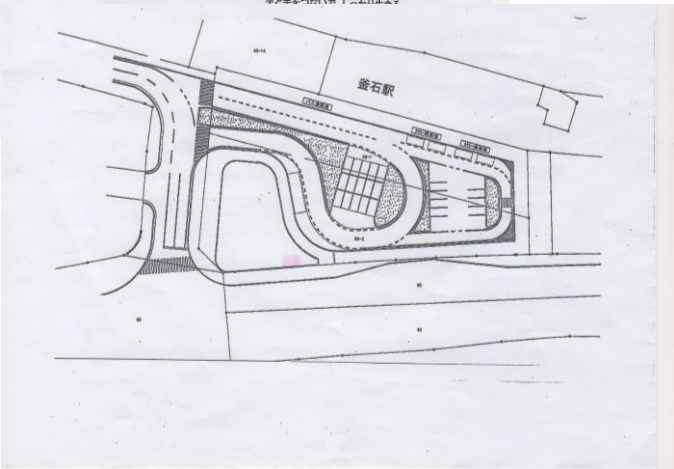
いきいき生きる

(釜石小学校校歌) 【作詞】井上ひさし 【作曲】宇野 重吉

いきいき生きる いきいき生きる
ひとり立って まっすぐ生きる
困ったときは 目をあげて
星を眺めてに まっすぐ生きる
島あるうちは いきいき生きる

はっきり話す はっきり話す
びびりせずにはっきり話す
困ったときは あわてずに
人間について よく考える
考えたら はっきり話す

しっかりかむ しっかりかむ
まごとの知恵を しっかりかむ
困ったときは 手を出して
とどろきの手を しっかりかむ
手と手をつないで



NPO法人ガバチョ・プロジェクト
スタッフ

山崎眞行
山崎詔子